

平成23年度 学校経営計画 関係者評価

評価委員アンケート

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価番号	評価指標						学校関係者評価 記入欄 (A~Dのうち1つに○を)	ご質問・ご意見欄 特にC以下の評価となった理由もお聞かせ下さい																											
					努力指標		評価基準		成果指標				評価基準																										
学力の向上	授業に意欲的に取り組むことができる生徒を95%以上とする。 (3年次)	授業がわかる生徒を80%以上とする。  基礎・基本定着状況調査、全国学力・学習状況調査等での通過率60%以上の生徒を80%以上とする。	1 授業開始時に学習目標、「本時の目標」を確実に提示する。	1	66.7%	4	80%以上	2	73.4%	4	90%以上	2	A 学校の評価活動は適切である	3	○ 学校側の謙虚な評価が頼もしい。 ○ 教師集団が共通認識のもとスクラムを組んで、授業や保護者との連携を行っていただきたい。 ○ 学力の向上については、小学校との連携も必要である。 ○ 生徒が地域活動の場によく参加している。教員の参加ももっと多いはず。																								
			2 授業開始時に前時の振り返りを確実に行う。										3	80%以上		B 学校の評価活動はほぼ適切である	1																						
			3 「振り返りシート」で「分からない」と言える授業風土をつくる。										3	70%以上		C 学校の評価活動は適切でない																							
			4 協同学習の場面を総計で1日30分間確保する。													1	70%未満	D 指標・基準が不適当である																					
			5 ICT機器活用を計画的に行う。										2	60%以上		3	70%以上	A 学校の評価活動は適切である	3																				
			6 特別支援教育を視野に、実態に応じた個別指導を実施する。															3	70%以上	B 学校の評価活動はほぼ適切である	1																		
			7 家庭学習習慣を身に付けるため、週末課題・学習ノートを活用・実施する。															2	50%以上	C 学校の評価活動は適切でない																			
			8 学区内小学校と連携し、9ヵ年を見通した基礎学力の定着を図る。															1	50%未満	D 指標・基準が不適当である																			
豊かな人間性の育成	あいさつ・声かけをとおして、学校全体でお互いを信頼し、尊重し合える仲間づくりを目指すとともに、生徒自ら自己肯定感があること・自らの成長を実感する生徒が100%となる。 (3年次)	学校の内外を問わず、あいさつの習慣がついたと実感する生徒を90%以上とする。  掃除を学習・自己研鑽・修養の機会として取り組む生徒を90%以上とする。	1 教師自ら生徒への挨拶を積極的に行う。	2	94.6%	4	80%以上	4	90%以上	4	90%以上	3	A 学校の評価活動は適切である	3																									
			2 「がんばりチケット」で挨拶・掃除の肯定的評価活動を行う。										3	70%以上		B 学校の評価活動はほぼ適切である	1																						
			3 掃除について統一した指導を展開する。										3	79.0%		4	80%以上	3	70%以上	3	80%以上	4	90%以上	2	A 学校の評価活動は適切である	2													
																									2 60%以上	B 学校の評価活動はほぼ適切である	2												
																									1 60%未満	C 学校の評価活動は適切でない													
																									4 専門委員会を活性化し、校内美化(清掃ボランティア等)・読書活動の推進を図る。	2	60%以上	D 指標・基準が不適当である											
			信頼される学校づくり										保護者・地域に学校の取組に対する理解を広め、学校への信頼度において肯定的評価を95%以上とする。 (3年次)	学校内外のボランティア活動への参加経験を持つ生徒を60%以上とする。  地域行事の各種行事へ参加した生徒を70%以上とする。		1 ボランティア手帳を活用し、校内外において、ボランティア活動の機会を増やす。	4	70%	4	80%以上	3	86.1%	4	60%以上	4	A 学校の評価活動は適切である	4												
																2 ボランティア紹介黒板の設置による広報活動を行う。										3	70%以上		B 学校の評価活動はほぼ適切である										
																3 横川ふしぎ市、三篠公民館まつり等の地域行事への参加募集を募る。										2	60%以上		C 学校の評価活動は適切でない										
																4 市内大型地域イベント(FF用花育成等)に生徒が育てた花を提供し、支援する。										1	60%未満		D 指標・基準が不適当である										
																5 ふれあい活動推進協議会と連携した地域・生徒・保護者参加型の行事を開催する。										5	66.7%		4	80%以上	2	70%以上	2	81.1%	4	60%以上	4	A 学校の評価活動は適切である	4
																																						3 70%以上	B 学校の評価活動はほぼ適切である
2 60%以上	C 学校の評価活動は適切でない																																						
1 60%未満	D 指標・基準が不適当である																																						